

声をあげよう！ 仲間を広げよう！ 人間らしく働く権利の確立をめざして！

パート・非常勤部会ニュース No. 7

大阪市北区錦町2-2 国会会館1F 大阪労連パート・非常勤部会

2009・3・3

府立高校の非常勤職員350人のクビ切りをするな！

約1000人で府庁を包囲し、谷町筋をパレード



3月2日(月)の午後6時30分より大阪労連パート・非常勤部会と府労組連の共催によるパート1000人パレードが行われました。とても寒い日でしたが約1000人が参加し、府庁前駐車場での集会では、出向井部会長は「クビ切りはアカンというこの間の情勢の中で、橋下知事は府立高校の非常勤職員350人をいっせいにクビ切りしようとしている」と述べ、府労組連を代表して府高教の志摩書記長は「府立高校

の非常勤職員がいなくなれば、教育に重大な支障が生じます。」「知事は『教育日本一』と言いながら、現場になくてはならない職員を減らす。どう考えてもおかしいのではないのでしょうか？しかも、これらの職員は、年収約110万円、学期雇用で年に何回も雇用を中断され、昇給もボーナスもない、実験実習に欠かせない白衣さえ支給されない、こんな劣悪な条件で何十年と繰り返し雇用されてきました。安上がり、都合良く働かせてきて、都合が悪くなったら切り捨てる。こんな労働者の使い捨ては絶対に許せません。」「マスコミの過剰報道で作られた『支持率』を笠に着て横暴勝手続ける橋下知事に、『雇用とくらし守れ』『クビ切りやめよ』の圧倒的世論を突きつけようではありませんか！」と述べました。

決意表明

最後の最後まで闘い抜きます。もう少し力を貸して！

3月までに職を失う人が15万7800人。そんな状況の中で、雇用創出の努力をして民間に指導の先陣の役割を担うべき府が350人のクビ切りを強行しようとしています。中小の経営者が最悪の事態を回避すべく、時短や雇用日数の縮小などいろいろ手段を講じて従業員の雇用を守る努力をしているのに、いとも簡単に非正規だからとクビ切りを強行する府の姿勢を許すことが出来ません。

本当に、今、開発事業は必要か？ 御堂筋は光かがやかすべきか？ 小学校の校庭を芝生化しないと児童に支障があるのか？ WTC移転が関西経済活性化につながるのか？

学校現場を混乱させ、来る4月からの新学期にどのような事態に陥るか想像すると、生徒の悪影響は避けられず、また、出来る生徒をさらに名のある大学に入れるための学校改変をしようとしています。

それが知事のやりたい教育日本一なののでしょうか。心をどこかに置き忘れていませんか!

たくさんの団体の皆さんと連帯し支えていただき、共闘の輪を広げてもらって、ここまで闘ってこれることができました。とても自分たちだけでは出来ない運動です。たくさんのご支援と友情に感謝します。2月府議会に最後まで注目し、最後の最後まで闘い抜きます。もう少し力をお貸し下さい。

(府立高校の非常勤職員、Kさん)

連帯あいさつ

雇用を守るため 送迎バスを確保

橋下知事、「大阪の学力低下はけしからん」と発言したのはあなたではありませんか! 子どもたちの学ぶ機会を奪い、教育を切捨てているのは、知事あなた自身ではありませんか! 雇用止めをして非常勤職員の生活を破壊するのはやめてください。イルミネーションより、最優先すべきは府民の生活ではありませんか! 今、必要などころにお金を使ってください。府民の命を守ってください。

私たちの職場でもアルバイトの雇い止めが提案されています。支所では、新物流のシステム変更で、作業が変更され、アルバイトの半数が雇い止めになります。継続して働きたいアルバイトの雇用確保を、理事会と最後まで交渉をしていく構えです。

物流センターが高槻から枚方に移転し、雇用問題が発生しました。通勤時間が往復で2時間以上かかりますが、高槻からの送迎バスを確保させ、雇用を確保しました。ダブルワークで生計を立てるパートに長時間契約や、移転後の慰労金などを獲得してきました。パレードでは、09春闘賃上げ、均等待遇実現、実行あるパート法の改正をアピールしてゆきたいと思います。(生協労連 Nさん)

雇い止めを許さず、時給1000円以上を求めて連帯してガンバロウ!

「私はモノではありません、人間です」はタイガーの偽装請負を告発し、一人で闘った女性の言葉です。派遣村の出現から、人間を使い捨てにするような日本の働かせ方に対する批判がかつてなく広がっています。日本の常識が世界から見れば非常識ということが広がりつつあるのではないのでしょうか。自治体の非正規職員も、雇い止めと闘い、雇用者責任を迫及しています。一定の成果もありますが、組合のないところでは、任期を口実にしての雇い止めが横行しています。特に、この春、非正規切りが大量に行われるのではないかと危惧しています。

官製ワーキングプアへの注目度が高まっています。先月、週刊東洋経済でも取り上げられ、アエラでは「広がる『お役所蟹工船』」というタイトルで自治体に広がる雇用不安と生活の苦しさが紹介されています。私たちの運動が、これらの動きをつくったことを確信にしましょう! 府立高校の非常勤職員350人のクビ切り問題も、闘いは終わっていません。雇い止めを許さず、時給1000円以上を求めて連帯してガンバロウ!

意気高くパレードを行いましょ!

「パート・非常勤を使い捨てにするな～」と谷町筋をパレード

(自治労連 Uさん)

